

飲水思源

町長 松岡市郎

続けること

今年には北海道命名150年目、東川町農業協同組合設立70周年、道立東川高校創立70周年、羽衣太鼓保存会50周年、東川町ライオンズクラブ設立40周年、写真甲子園の開催25回目：など多くの節目の年を迎えている。四半世紀を超えて「続けていること」の素晴らしさがある。

東川町は1895（明治28）年の開拓から120数年が経過しており、「東川町」としての形態が今日まで続いている。行政のような機能は、法律でしっかりとその機能が定められ、特別なことがない限り持続する。一方、任意組織や任意団体は世代交代がなかなか円滑に進まず、消えていく場合も多い。続けることの難しさを感じている。

町の産業も然りである。鎌倉時代の随筆集・方丈記に「水に浮かぶあわのようなもの」とあるごとく、著しい経済変化の中で浮かんで消えるものも多い。しかし消えないものもあると思う。それは食糧生産、住宅供給、衣類提供の分野、つまり「衣・食・住」と

「医療」の分野は消えることはない、といえるのではないか。人口知能（AI）によって人間に代わってロボットが活躍する分野も出てくる、といわれるごとく、衣・食・住産業が消えることは人類の滅亡に繋がるからである。

まちなかでは後継者がなく、高齢化などで店や工場を閉じるケースが出ている。実際に身近なものが消えて行くことに出会い、何か寂しい気持ちになるとともに時代が確実に経過していることを実感する。

本町内の産業は「衣・食・住」に関わるものが多いが、先代が頑張ってきた農業や商業などを誇りをもって継ぎたい、と若者が戻ってきていることは素晴らしいことである。

新しい芽が出てくる時、その芽をどう伸ばすことができるか、という環境を作ることが持続する大きな要因になる。「若者よ、帰ってこいよ!!」「元氣、士氣、勇氣」と、チャレンジする世代の夢を奪わないよう出来ることを静かに応援することが大切なことである。小さな応援力が「続けること」に繋がるのだから。

18歳選挙権ガイドブック（一般書）

川上和久／著 講談社／刊



2016（平成28）年の選挙権を18歳に引き下げする法案に続いて、今年6月、成人年齢の引き下げ法案が成立しました。若い世代の「社会への思い」が行動に結びついて政治が自分ゴト、化になる日が間もなく到来します。この本は、写真と図表をふんだんに使って民主主義の歴史と18歳選挙権の本質を分かりやすく解説しています。

誰も知らない世界のことわざ（一般書）

エラ・フランシス・サンダース／著 創元社／刊



文化によって食べものや着る服が違うように、世界各地のことわざにも違いがあります。多くは、何世代にも渡って生まれ、世代から世代へ、またコミュニティからコミュニティへと受け継がれています。「ロバにスポンジケーキ」「あなたのレバーをいただきます」など、風変わりな美しいことわざから世界の文化に触れる一冊。

貸し出し図書ビデオ紹介

せんとぴゅあⅡ ほんの森

今月は新入荷DVDの紹介はありません。

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています
図書、紙芝居、雑誌は一人合計10点まで15日間、DVDは一人2本まで8日間

シランカッタの町で（絵本）

さえぐさひろこ／作 にしむらあつこ／絵 フレーベル館／刊



幼なじみのさなちゃんから「よわっち」というあだ名でよばれていたかずき。クラスメートの前で発表するはずだったリコーダー演奏も失敗してしまいました。しょんぼりとして帰る帰り道、偶然ふしぎな万華鏡を手に入れました。のぞいたとたん、かずきはシランカッタの町に立っていました。そこで出会ったのは、かずきと性格も性別も正反対な女の子キズカ。キズカとすごすうち、かずきはたくましく成長します。